

# 子ども食堂だより

vol.10

2022年  
5月発行

## “子ども食堂防災教室”

～えにしの日\*に合わせた防災の取組み～

### \*「えにしの日」とは

災害時に命を守るのは日頃からの地域のつながりであり、支え合えるコミュニティがいかに大切であるかを、県民一人ひとりが考え、話し合い、心に刻む日にしたいとの思いから、東日本大震災が発生した3月11日を「えにしの日」と決めました。

また、えにしの日を含む1週間（3/9～3/15）を「えにし週間」として、災害時に支援を必要とする人の側に立った訓練や学習会等の取組みを、県民運動として広げていきたいと考えています。子ども食堂でも、防災の取組みを実施されています。

### 大丈夫食堂（甲賀市）



親子で防災について考える機会になるように、とスタッフの方が一人ひとりに声をかけながら、災害時に気を付けることや、用意しておくといよいものを記載した手作りパンフレットと、ネックライトをお渡しされていました。

受け取られたお母さんから、「子どもと防災について考える機会になりました。」という連絡が早速スタッフさんに入っていました。このような機会に親子で話すことをきっかけに、防災が少しでも身近なものになっていたら良いですね。

### おいで子ども食堂（草津市）



#### ■防災紙芝居

子ども向けの防災紙芝居から身近な災害を想像し、緊急時の行動や災害に対しての気構えを学びました。

#### ■避難リュック点検

いざ「避難！」となった時に焦らずに持ち出せる“避難リュック”の点検をされました。

年齢別や季節によっても必要なものは変わるので、ぜひ皆さんも点検をし災害に備えたいと思います。

### むさっ子食堂（近江八幡市）

段ボールベッドに寝てみたり、避難所でプライバシーを守るためのテントに入ってみたり、消防車に乗せてもらえたり、非常袋に避難時に必要なものを詰めたり…盛りだくさんでした！

メニューも、アルファ化米でつくったおにぎりやバナナ等。子どもたちは順番に受け取りに行きます。その際にも、災害時には、みんなで分け合わないといけないこと、おなかいっぱい食べられないこともあること等、スタッフのみなさんが声をかけておられました。

自分や大切な人を守るためにも、友達や家族と防災についてお話しするなど、今回の取組みが少しでも意識を持つきっかけになっていけばいいな、と思います。



その他には、**西出子ども食堂、逢坂アモーレ子ども食堂、逢坂smile door子ども食堂、アモーレ子ども食堂、地域循環型未来食堂「みんなの食堂」**がえにしの日の取組を実施されました。このような取組みをとおして、子どもたちにとって防災が少しでも身近なものになったら良いですね！

## “滋賀の縁認証”

\*「滋賀の縁認証」とは、滋賀の縁創造実践センターがめざすだれもが「おめでとう」と誕生を祝福され、「ありがとう」を看取られる人間的共感にねざした共生社会の実現のため、だれもが「ひたすらなるつながり」を実感できる地域福祉の実践を認証することにより、滋賀の福祉モデルとして未来につないでいく活動です。令和3・4年度には下記の子ども食堂の皆様が認証されましたのでご紹介します。

### 【令和3年度】

子ども食堂平野学区のぞみ / 晴嵐みんなの食堂 / むさっ子食堂  
はるにし子どもカレー食堂 / ふたば・あすなろ食堂  
にぎわい広場 / おひさまくらぶ / わっか子ども食堂  
湖北子ども食堂「Liaison(リエゾン)」 / こどもの居場所「まんま」  
(※管理番号順)

一人ひとりを大事にする「福祉しが」を  
未来につなぐ縁・共生の場



### 【令和4年度】

NPO法人スーブル / 八日市おかえり食堂 / 子ども食堂R北尾 / かめのこ子ども食堂  
キッズカフェ・エンジェライト / のぞみちゃん食堂 / はちまん子ども食堂 / 寺子屋食堂 / のぞみ子ども食堂  
田上つ子食堂 / eat a l k / さわやま♥子どもほっとランチ / スエばあちゃん食堂 / かんちゃんの小さな家  
子どもカフェあおぞら / みんなの食堂ビハーラ / 子ども食堂ひがしっこ / のびっこ子ども食堂 / 花明かり食堂  
子ども食堂あじと / きのもと子ども食堂 / きりっ子食堂(桐原東小学校) / 栗東BBS子ども食堂  
てるてるぼうず / あやの子ども食堂 / にじの家サロンこども食堂&寺子屋 / かしわぎ☆わいわい食堂  
子ども食堂ぱっぱ屋 / ぜぜこども食堂 / 膳所子どもカレー食堂 / ちゅうずこども食堂  
きりっ子食堂(桐原小学校) / 柏原子ども食堂 / 駅前保健室アモーレ子ども食堂 / かたばみ食堂  
NPO法人芹川の河童 (※管理番号順)

## 各地の動き

～工夫しながら様々な取り組みをされています！～

同じ地域の子ども食堂同士の情報交換の場として、各市町社会福祉協議会などが中心となり、交流会や情報交換会を開催されています。

3月15日は近江八幡市ので子ども食堂連絡会"元気になる子ども食堂とは"が開催され、県社協からも参加してきました！

大阪人間科学大学 教授 中川千恵美先生から「子育てを取りまく状況について」話題提供していただき、4グループに分かれて、「支援の輪を広げるには？」「後継者はどうしてる？」「子ども食堂について知ってもらために啓発活動はどうしてる？」など、子ども食堂の皆さん同士で、日々の悩みごとを話し合える場になりました。



遊べる・学べる  
淡海子ども食堂が

158

ヶ所に

なりました!!

2022年5月現在

## 新たに6か所が立ち上がりました！

2022年3月～5月

めくもり食堂(高島市)  
にん(忍)★にん(人)広場(湖南市)  
シモサカAステーション(大津市)  
ゆうやけこやけ(大津市)  
スペースひまわり(大津市)  
子ども食堂わいがやキッチン(大津市)

「子ども食堂だより」は、子ども食堂を運営しているみなさんに向けて約2か月に1回の発行しています。ご意見や感想、他の食堂さんにも知ってもらいたい取り組みや質問がありましたら、ぜひ下記までお問合せ下さい。

問合せ

滋賀の縁創造実践センター 滋賀県社会福祉協議会

〒525-0072 草津市笠山七丁目8-138

TEL 077-567-3924 FAX 077-567-5160

E-mail shiga-hug@shigashakyo.jp



遊べる・学べる淡海子ども食堂について詳しくはこちら！  
「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」HPをご覧ください。

<http://shiga-hug.jp>